

科目名称	動物感染症学
授業コード	BC201
英語名称	Animal Infectious Diseases
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	彦野 弘一
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	「愛玩動物看護師カリキュラム」の「動物感染症学」のうち、「動物感染症」について講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	元国立研究所での動物感染症の予防、検査、診断、制御に係わる実務経験を活かして講義する。
到達目標	<p>病原体の感染経路と伝播様式について理解する。感染症の成立要因について理解する。主な感染症の症状、治療法、予防法について理解する。消毒、滅菌法について理解する。院内感染の予防対策について理解する。</p> <p>本科目は、アニマルサイエンス学科のカリキュラムポリシーにある「人と動物の『共生』」についての科学的な専門知識と調査・研究手法を身につける」ための動物看護専門科目である。内容には、バイオセーフティに関わる倫理を含む。本科目は、アニマルサイエンス学科のディプロマポリシーにある「人と動物の『共生』」についての科学的な専門知識と調査・研究手法」や「人と動物の『共生』」についての諸問題に関心をもち、合理的な視点から分析・理解して問題解決に寄与できる能力」を身に付けることに貢献する。本科目は「愛玩動物看護師カリキュラム」に含まれる。</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1．動物病原微生物学の復習 2．感染症概論（感染経路、伝播様式、成立要因） 3．ワクチン、抗ウイルス薬、駆虫薬 4．抗菌薬、薬剤耐性菌、院内感染の予防対策 5．「感染症概論」まとめ 6．ウイルス感染症（犬） 7．ウイルス感染症（猫） 8．ウイルス感染症（複合感染症、狂犬病） 9．「ウイルス感染症」まとめ 10．細菌感染症（犬） 11．細菌感染症（猫） 12．原虫感染症 13．蠕虫感染症 14．「細菌、原虫、蠕虫感染症」まとめ 15．近年の動物感染症についての話題
授業の進め方	パワーポイントを用いて対面授業する。第5、9、14回の講義（「感染症概論」「ウイルス感染症」「細菌、原虫、蠕虫感染症」まとめ）において小テストを行い、授業内容の理解度を確認する。

能動的な学びの実施	メールを用いて講義内容についての質疑応答に応じる。積極的に活用ください。
授業時間外の学修	教科書や参考書を持ちいて自学自習し、講義内容を補足ください（合計60時間程度）。
教科書・参考書	教科書 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第3巻「動物感染症学」、一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会、エデュワードプレス 参考書 臨床獣医師のための犬と猫の感染症診療、前田ら（編）、緑書房
成績評価方法と基準	15回中10回以上の講義に出席した学生の成績を評価する。「感染症概論」「ウイルス感染症」「細菌、原虫、蠕虫感染症」まとめの小テストを評価する（合計100%）。
課題等に対するフィードバック	メールを用いて講義内容についての質疑応答に応じる。積極的に活用ください。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	事前に1年次の動物病原微生物学を履修していることが望ましい。3年次前期の動物臨床検査学実習、3年次後期のアドバンスト実習における動物感染症学実習の基礎となる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 zoomによるオンライン授業や課題提示型学修などを組み合わせて実施する。 成績評価方法と基準 15回中10回以上の講義に出席した学生の成績を評価する（課題のダウンロードなどで出席を確認する）。「感染症概論」「ウイルス感染症」「細菌、原虫、蠕虫感染症」まとめの小テストを評価する（合計100%）。